

令和5年度行政事業レビューシート			( 内閣府 )				
事業名	地域のデジタル実装に向けたフォローアップ調査事業		担当部局庁	政策統括官(経済財政分析担当)		作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地方創生推進室	参事官 景山 忠史	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	デジタル田園都市国家構想総合戦略			
政策	5. 地方創生		主要経費	その他の事項経費			
施策	5. 地方創生に関する施策の推進						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的(5行程度以内)	デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)の採択事業への網羅的な効果検証を行うことで、今後の本交付金活用事業の質の向上が見込まれ、より政策目的に沿った地方の課題解決に寄与することが期待できる。						
現状・課題(5行程度以内)	令和4年度第2次補正予算にて措置されたデジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)は、計992団体の地方公共団体に対し、交付対象事業費:計653億円、国費ベース:計378億円の措置を行っており、採択事業が適切かつ効果的に実施されている検証することが必要である。						
事業概要(5行程度以内)	デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)において、実績報告書をもとに事業に対する評価・効果検証を行い、特に進捗が芳しくない地方公共団体へは個別アドバイス等の底上げを実施する。また、全国の地方公共団体のデジタル実装状況をマップ上に可視化し、情報の見える化を行う。						
事業概要URL							
実施方法	委託・請負						
補助率等							
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	60	98	
		令和5年度第1次補正予算				98	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	60	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲60	-	
		予備費等(E)	-	-	9	-	
		計(F)=(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	9	158	100
		執行額(G)			9		
執行率(%)=(G)/(F)	-	-	100%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)=(G)/[(A)+(B)]	-	-	15%				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	地方創生支援費			事業名を「デジタル田園都市国家構想交付金効果検証調査事業」から変更		
	(目)	地方創生支援委託費		99			
	(目)	諸謝金		1			
		その他	-				
	計(A)	-	100				

<b>活動内容①</b> (アクティビティ)		交付金活用事業について、実施報告書の内容分析、個別事例の深堀調査(ヒアリング等)、地方公共団体への情報支援の企画検討を行う。								
↓										
<b>活動目標及び活動実績</b> ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		交付金活用事業について、実施報告書の内容分析、個別事例の深堀調査(ヒアリング等)、地方公共団体への情報支援の企画検討を行う。	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、本交付金を活用した取組数(事業数)	活動実績 当初見込み	事業数	-	-	-	-	-
					事業数	-	-	-	100	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		要フォローアップ事業に対して事業の成功・失敗要因等をフィードバックすることで、当該事業の成果・質が改善され、KPIを達成する事業数の増加につながるため。								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		客観的なフィードバックによる採択事業の改善	フィードバックによりKPIを達成した事業数/フィードバックを行った事業数	成果実績	団体	-	-	-	-	
				目標値	団体	-	-	-	50	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		R5年度に実施するデジタル田園都市国家構想推進交付金の効果検証事業において、R4年度採択事業の効果検証を行う予定であり当該効果検証の結果をもって目標値を精査する。								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		フィードバックによりKPIを達成した事業数が増加することで、交付金を活用した事業のうち、KPIを達成し、実際に成果を上げている事業が増加するため。								
<b>成果目標及び成果実績</b> ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度	
		交付金対象事業について、地方公共団体において設定したKPIの達成	事前に設定したKPIを達成した事業数/交付金対象事業数	成果実績	団体数	-	-	-	-	
				目標値	団体数	-	-	-	77	
				達成度	%	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		R5年度に実施するデジタル田園都市国家構想推進交付金の効果検証事業において、R4年度採択事業の効果検証を行う予定であり当該効果検証の結果をもって目標値を精査する。								
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
<b>事業に関連する KPIが定められて いる関係決定 等</b>		名称	-							
		URL	-							
		該当箇所	-							
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
<b>点検結果</b>		令和4年度は、R2年度補正予算において措置した地方創生テレワーク交付金採択事業の効果検証をおこなったところ、デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証を対象とした本事業は令和5年度に実施するため、令和5年度終了後に点検を行う。					目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度実施)			
		-					-			
<b>改善の 方向性</b>		-								



内閣府  
9百万円



PwCコンサルティング合同会社  
9百万円

〔 地方創生テレワーク交付金採択事業の実施報告書の結果分析 〕

**資金の流れ**

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・用途**  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費	地方創生テレワーク交付金採択事業の実施報告書の結果分析に係る経費	9			
計		9	計		

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一省応札・一省応券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	PwCコンサルティング合同会社	1010401023102	地方創生テレワーク交付金採択事業の実施報告書の結果分析に係る経費	9	一般競争契約 (総合評価)	2	95%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	